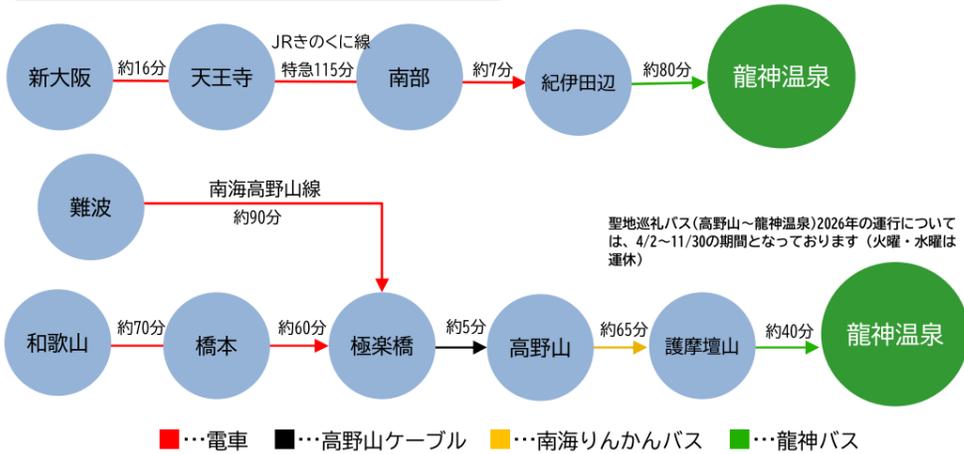


列車・バス（公共交通）をご利用の場合



交通機関お問い合わせ

- 龍神自動車 (0739)22-2100
- 南部タクシー (0739)22-2608
- 南海りんかんバス (0736)56-2250
- 高野山タクシー (0120)372-628
- 白浜第一交通 (0739)42-2916
- 明光タクシー (0739)42-3751
- 熊野第一交通本社 (0735)22-6313



マイカーをご利用の場合



龍神温泉

ホームページ

龍神村の観光情報盛り沢山！
気になるページがすぐ見つけられちゃいます。



Instagram

イベント情報、フォトコンテスト
開催情報をいち早くお届け。
ぜひフォローお願いします！



X (旧Twitter)

温泉むすめ「龍神晴」ちゃん情報
発信中！最新情報をいち早く
チェックできます。



飛行機をご利用の場合

関西国際空港から

JR関西国際空港線、日根野駅乗換えで特急列車にて約1時間半でJR紀伊田辺駅到着。
JR紀伊田辺駅から龍神バスで約1時間20分で龍神温泉へ。

羽田国際空港から

空路南紀白浜空港まで約1時間15分。JR白浜駅までバスで20分、乗り継ぎJR紀伊田辺駅から、龍神バスで約1時間20分で龍神温泉へ。

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。
皆さまにはお健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。
平素は、龍神観光協会の活動に対し多大なるご支援とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。
さて、昨今の日本と中国の政治的な摩擦はあるものの、コロナ後のインバウンドの回復が国内の観光産業に大きな経済効果をもたらしております。
当地域においても外国人観光客は増加の傾向にあり、それぞれの施設が心のこもったおもてなしを提供し、観光客からも評価いただき特に龍神温泉をはじめとする龍神温泉郷の泉質は国内外を問わず多くの観光客に高く評価いただいているところ です。
そのような中で昨年は、旅して日本プロジェクトが主催する「温泉総選挙2025」におきまして「龍神温泉郷」が各省庁賞の観光部門最高位にあたる「観光庁長官賞」を受賞いたしました。これは、温泉をはじめ地域の資源を生かした取り組みにより、特に外国人の増加につながっていることが受賞の理由です。
さらに、温泉選挙応援投票におきましても「美肌部門」で関西第1位という評価をいただきました。これもひとえに、日頃より当温泉郷を愛し、応援してくださる皆様のご支援の賜物であり、改めて厚く御礼申し上げます。
本年(2026年)は、この栄誉を大きな励みとし、「日本三美人の湯」をはじめ、良質な泉質が自慢の龍神温泉郷としての魅力を国内外へさらに力強く発信してまいりたい所存です。
本年も変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう、なにとぞよろしくお願ひ申し上げます。
皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

令和8年1月
公益社団法人 龍神観光協会
役員、職員一同

RYUJIN RENTAL CYCLE
龍神巡りサイクリング、始めました。

電動アシスト付き自転車「ベネリ」
「トヨタバイク」もあるよ。

車じゃ気づけない龍神の魅力を発見。
公益社団法人 龍神観光協会

レンタサイクル稼働中！
自転車乗って『ええとこ』いこら、貸出施設はこちら

G. WORKS
田辺市龍神村福井493 (道の駅龍遊敷地内)
TEL:0739-77-0785

龍神温泉元湯
田辺市龍神村龍神37 (別館:田辺市龍神村龍神5)
TEL:0739-79-0726

龍神村
ドラゴンミュージアム
田辺市龍神村柳瀬908
TEL:0739-78-0072

RYUJIN KANKOU MAGAZINE

龍神村の知らない魅力が見つかる情報誌



今のきらめき

龍神の冬

冬号

vol.12

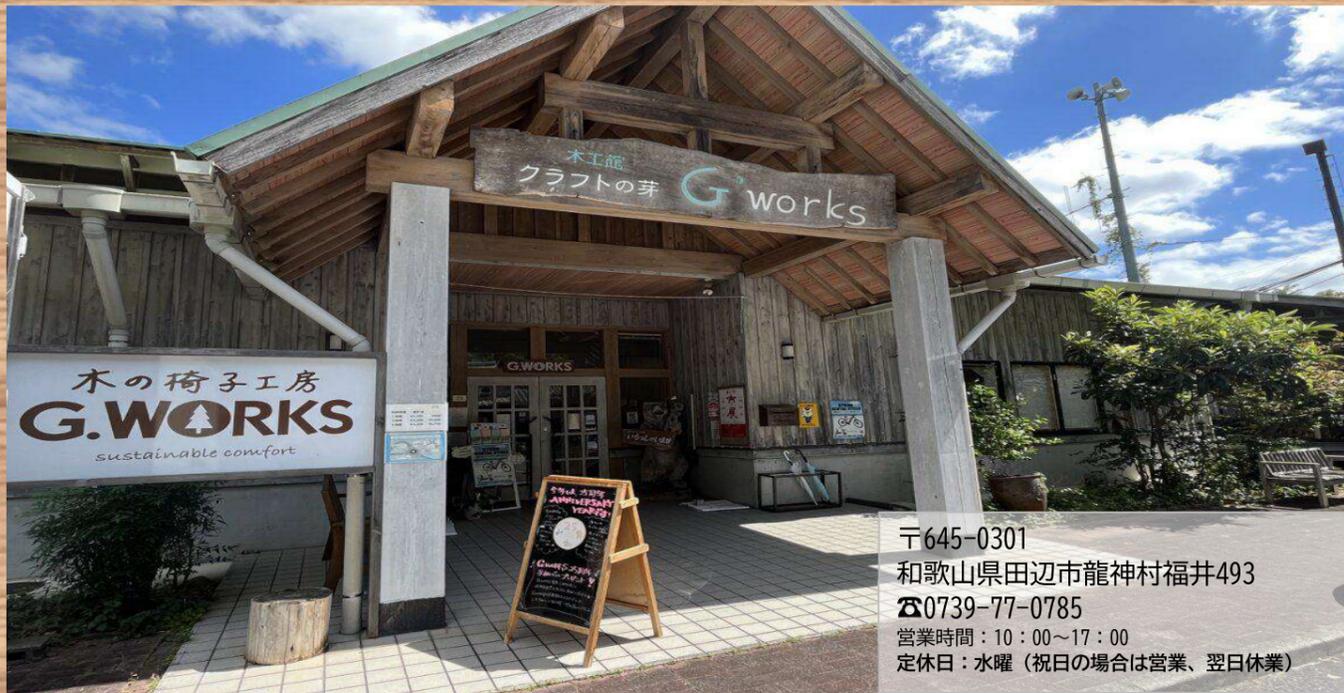
(公社)龍神観光協会
〒645-0415
田辺市龍神村西376
TEL(0739)78-2222

龍神温泉観光宿泊案内所
〒645-0525
田辺市龍神村龍神165-1
TEL(0739)79-0339



～日常に木のぬくもりを～

木工館 G.WORKS



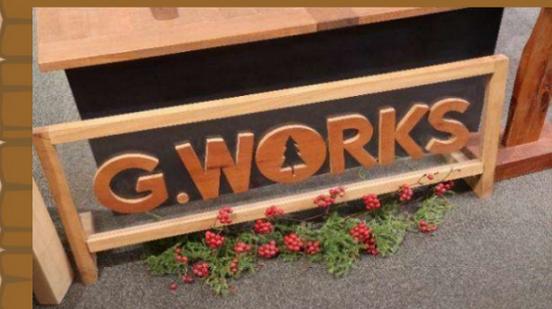
〒645-0301
和歌山県田辺市龍神村福井493
☎0739-77-0785
営業時間：10:00～17:00
定休日：水曜（祝日の場合は営業、翌日休業）



HP Instagram

●初心を忘れないための「G」

1997年、紀州の山々に抱かれた龍神村で始まった木の椅子工房『G.WORKS』。少し不思議な店名の『G』は、実は『Green=未熟』という言葉に由来しています。『いつまでも完成することなく、初心を大切にしたい』。そんな店主の謙虚で真っ直ぐな思いが、使う人の心に寄り添う椅子を作り続けています。



●すべての椅子が「世界で一脚」

龍神村の紀州材を中心に、無垢の家具を手作りで製作しています。
紀州スギのしなやかさが生む、厚みのある背もたれと、体に馴染む美しい曲線。手作りだからこそ、全ての椅子が世界に一つだけの一点ものとなります。
また、木本来の性質を損なわずに撥水機能を持たせた塗料を採用するなど、見えない細部までこだわり抜いています。



紀州スギロッキング アモ

●なぜ、椅子なのか 「座る」という日常の真ん中にある、奥深き世界

数ある家具の中でも、椅子は特別な存在です。人の体型や暮らし、そして木の個性が複雑に絡み合うその設計には、終わりのない奥深さと面白さが詰まっています。
普段、私たちは「座る」ことを無意識に行っています。しかし、その何気ない動作こそが暮らしの基本。だからこそ、使い手の輪郭に寄り添い、紀州材という命をそこに重ね合わせていく。無意識の時間が、最高に心地よいひとときに変わる。その瞬間のために、椅子を作り続けています。



●店内を彩る、地元の作家が手がけた陶芸や和紙 藍染などの多彩な作品



●スタッフの皆様より



G.WORKSでは、紀州材のみを使用した無垢の家具を製作・販売しています。
特にこだわっているのは、ふくよかで、丸みのある愛らしい椅子のデザイン。分厚く切り取った背もたれや、体にフィットする柔らかな曲線は、紀州スギだからこそ出来るデザインです。
小ぶりのスツールから、ロッキングチェア、大きめのベンチまで、いろいろなくつろぐためのアイテムを揃えています。
スツールなどは新築のお祝いにもおすすめです。「道の駅龍遊」内にありますので、ドライブついでに、ぜひ、お立ち寄りください。

龍神村

マニアすぽっと!



和歌山は木（紀）の国とも呼ばれ、お隣の奈良県とともに奥深く自然環境に恵まれた広大な山々を有し、産業に位置付けられ、現代まで栄えてきた地域の基幹産業でもありません。いつ頃から栄えてきたことは言えませんが、この村で記録が残っている最古のもので1786年頃の植杉山を売買した記録が残っているようで、その頃にはすでに人工造林を管理していたこととなり、木材の取引等については江戸時代初期に始まったとされています。現代でもこの良質な杉や檜（ひのき）は住宅用材ブランドの龍神材や、家具、チエンソーアート作品等で多くの人々に親しまれています。
今回は木で栄えてきた村の中でも、名木と呼ばれ、ランドマークとなっている木を1つご紹介します。

龍神村の名木
（荒島神社の杉檜夫婦御神木）



以前の龍神観光マガジンでもご紹介しました「虎ヶ峰の一本杉」「鍋坂氏神の榎」と並び、村内には数百年規模の樹齢を刻んだ巨木が複数存在しており、特に神聖な信仰対象でもある神社境内には恐らく建立の際に植えられた杉や檜が立派な神木として現存しています。甲斐ノ川地区にある荒島神社の杉檜夫婦御神木（すぎひのきめおとごしんぼく）もその一つ。夫婦杉と呼ばれるものはよく聞きますが、荒島神社の御神木は太い方が杉、細い方は檜です。根は重なり合い一つの根元から二本が並立している様に見え、境内の中でもひと際大きなこの杉は目通り幹囲約4.9m、高さ約30m、檜は目通り幹囲約2.8m、高さ約25mを超える立派な御神木です。村誌によると、この荒島神社の社歴は古く、御神体とともに秘蔵されていた棟木札によると明徳3年（1392年）霜月とされていますが、この地へ勧請された年は不明とされています。御祭神は荒島ノ神（瀬織津比咩命、八重事代主命）を主神とし、以降複数の神社が合祀されており、毎年11月3日には商売繁盛、家内安全、五穀豊穡等を祈願し、小家庭、甲斐ノ川地区、福井地区の氏子による祭典が執り行われています。祭事の神遊びでは笛や太鼓の音色に合わせ獅子舞と鬼・ワニの兼ね合いが見所で、祭典のクライマックスでは御神木が見守る境内で、ご利益があるとされる「花」を氏子や参加者で取り合うのが風習となっています。
この神社を一番永く見てきている杉檜夫婦御神木にはご利益があり、御神木の間をくぐり、社殿を参詣すると子宝が授かるといわれていますよ。
村内にはまだ複数の名木が点在していますので機会があれば探してみたいかがでしょうか？

参照 龍神村誌下巻

